# つくほうだより

2026年
9月号



特集　　つくほう夏祭り
　　夏季学習、夏季旅行

# 目次


03 今回は、ほっとハウス施設長大和田の長話。

04 法人夏祭り

06 七夕
児童入所、ほっとハウス

## 児童入所施設

07 春の園外

08 夏季学習

## 障害者支援センター未来

10 平沢事業所　夏季旅行

12 平沢事業所　作業日誌

13 永井事業所　作業日誌

14 永井事業所　暑気払いレク

## ほっとハウス

15 お楽しみ外出

16 法人虐待防止研修

17 相談だより、給食だより

18 平沢官衙万灯まつり

19 お知らせ


表紙



五色沼での一枚。

障害者支援センター未来平沢作業所
夏季旅行



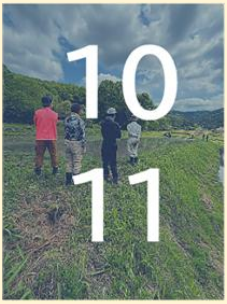

### 法人夏祭り

夏休みも終わる時期に、法人入所系の事業所で夏祭りを開催しました。




### 夏季学習

児童入所施設の子どもたちが、グループに分かれて活動してきました。




### 夏季旅行

障害者支援センター未来平沢事業所が夏季旅行に出かけてきました。




### 平沢官衙万灯まつり

平沢官衙の万灯まつりには、万灯の絵も、当日も、参加しました。
この秋もイベントがあります！

今回は・・・
ほっとハウス
施設長　大和田敏夫　の

長話。

# 18年の歴史とこれから

令和8年度がスタートして、早くも6ヶ月が経過しようとしています。今年は厳しい暑さに加え、7月末の熊本地震、8月の千葉県での豪雨など、自然災害が相次ぎました。被災地の一日も早い復興をお祈りするとともに、私たち自身も暑さへの対策だけでなく、いつ起きるか分からない災害への備えを進めながら日々の生活を送る必要性を改めて感じています。

ほっとハウスは平成20年4月に事業を開始し、今年で開所18年を迎えました。当時は、児童施設で成人した利用者さんが増えたことにより、本来の役割である学齢前・学齢期の支援が難しくなってきた状況がありました。そのため、成人した利用者さんの生活の場を整えることを目的として、16名のグループホームからスタートしました。私たちはこれまでも、利用者さんが安心・安全に生活できる環境を提供するという使命を持って業務にあたってきました。しかし移行当初は、長年過ごしてきた児童施設を離れるという大きな環境変化により、戸惑いや生活リズムの乱れなどが見られました。それでも、利用者さん一人ひとりが新しい環境に適応し、現在では44名の方が共同生活を送られています。開所当初32歳だった平均年齢は、現在43歳となりました。日本人の平均寿命は80歳を超えており、まさに人生の折り返し地点に差し掛かっています。

昨年度には、利用者さんに大きな病気が見つかり、入院・手術が必要となりました。入院を含めた対応については、ご家族や相談支援事業所と連携し、ご本人にとって最適な選択を検討しながら進めました。事業所として利用者さんの命や生き方をどのように支えるのか、私自身も深く考えさせられる出来事でした。この課題は、すべての利用者さんに関わる重要なテーマです。昨年度からは、保護者会や面談などを通じて、ご家族の考えを伺う機会を設けています。利用者さんが慣れ親しんだ環境で長く生活できるよう、活動や支援の幅を広げることを今後の課題として取り組んでまいります。

最後になりますが、法人や事業所をご支援いただいている関係者の皆様、そして保護者の皆様、いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。これからも利用者さんと共に一歩ずつ前進できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

# 夏祭り盛り上がりました！

児童入所施設とグループホームが合同で、夏休みもそろそろ終わりという8月27日に、夏祭りを開催しました。各事業所が手作りした神輿を担ぎ、祭りの雰囲気は一気に最高潮に。開催当日の夕方まで雨が降っていましたが、「どうしても神輿を担ぎたい！」という子どもたちの思いが勝り、水たまりの残る中でも元気いっぱいに外で担ぎ上げました。

その後は室内に移動し、のど自慢大会を実施しました。児童施設からは、1か月前に事業所内で行われたオーディションで選ばれたメンバーが参加。グループホームからは、日頃の余暇でカラオケを楽しんでいるメンバーが登場しました。職員も加わり、笑顔と拍手が絶えない、とても賑やかな舞台発表となりました。最後は盆踊りを踊って会を締めくくり、かき氷も味わいながら、濃密で楽しい時間を過ごしました。

今から20年以上前に、筑峯学園では納涼祭という行事を夏の終わりに行っていました。保護者や給食の職員が屋台を出し、ステージで歌い、最後に火縄に点火する、職員や保護者が総出で行っていた行事でした。あれから事業所も増え、変わったこともたくさんあるけれども、大事にしたいことを見つめ直す時間になったように感じます。













ほっとハウスのお神輿には、利用者さんのハチマキをまいた顔写真が貼ってありました。

筑峯学園では、竹が身近にあります。お神輿は、竹で土台を組んで作っています。

竹の切り出しから、職員と利用者さんが力を合わせて取り組みました。

# 七夕

障害児入所施設
**筑峯学園**







七夕会を行ないました。子どもたちが短冊に書いた願い事を、少し照れながらもみんなの前で発表してくれました。続いて「たなばたさま」の歌を合唱し、元気な歌声がお部屋いっぱいに響き渡りました。最後は、七夕の由来についての動画鑑賞。子どもたちは興味深そうに画面を見つめ、とても真剣に聴き入っている姿が印象的でした。笑顔が溢れる楽しいひと時となりました。みんなの素敵な願い事がお空に届きますように。

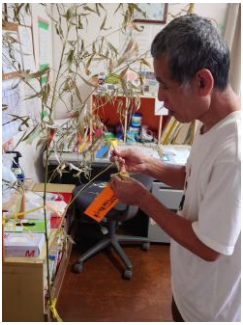
共同生活援助
**ほっとハウス**

今年も来ました七夕の季節。と云う訳でほっとハウスでも恒例の七夕レクを行いました。短冊に願いを込め、そして様々な飾りを作って笹に飾り付け。さらに日中活動の利用者さんには七夕に関するちょっとした３択クイズを５問出題。例：七夕の日に発売された飲み物は？

クイズの後はコーヒーゼリーの盛り付け（アイス付き）が待っています。皆、真剣な眼差し。食べるの楽しみだよね。ところで皆さんが短冊に書いた願いはかなったかな？ちなみにクイズの答えは「カルピス（大正８年７月7日発売）」なんです。







障害児入所施設
筑峯学園

# 春の園外指導訓練

今回の園外生活指導訓練は、各グループに、やったことのない、新しい体験をしてきてくださいとお題を出したところ、各グループ、ボーリング、つくバス体験、牛久大仏、霞ヶ浦遊覧船、釣り堀体験、ラウンドワン、茨城空港、常磐線特急ときわ号などなど、たくさんの案が出てきました。どの案もとても楽しそうなスケジュールを立ててくれ、みんな、お出かけで体験をしてきたことを、嬉々として話してくれました。

中でも、釣り掘りに行く予定の子が、お魚つりたい！お魚つって食べるの！と、一日一回は言っていたのが、大変印象に残っております。ほんの少しではありますが、お出かけの様子を写真にてご覧ください。













# それぞれの夏季学習の楽しみ



今年の夏季学習は、子どもたちが自分の好きなコースを選び、それぞれの場所で思い思いの夏を楽しみました。

鬼怒コースでは、鬼怒グリーンパークでの水遊びや、宇都宮の町中を走る私鉄列車「ライトレール」に乗車しました。グリーンパークにはコイがいるため、「一緒に泳ごう」と考えていた子もいましたが、子どもたちの元気に圧倒された臆病なコイたちはすぐに物陰へ。隠れたコイを探して小川の中を駆け回る子どもたちの姿が印象的でした。

西部園遊園地コースでは、大迫力の3Dアトラクションやスリル満点の乗り物を満喫し、1日を通して楽しめるコースとなりました。少し坂道に苦戦しながらも、「とても楽しかった」と好評でした。

水遊びコースの子どもたちは、土浦の水郷プールでひと夏を過ごしました。「遊び疲れてお昼前に寝てしまうかな」と職員が心配するほどでしたが、子どもたちは想像以上に体力がついていて、プールのあともメヒコでのお昼をおいしくペロリと平らげていました。

東京はとバス巡りコースでは、初めて乗るはとバスにみんな大興奮。2階がオープンカーのため、信号機が目の前まで迫ってきて「手を伸ばしてみようかな…」と構える子もいました。また、はとバスだけでなく、山手線やTX（つくばエクスプレス）など、さまざまな交通機関に乗れたことも満足だったと答える子が多くいました。

それぞれが楽しい思い出を胸に過ごした夏休み。2学期からの学校生活も、この思い出を励みに頑張ってほしいです。






水郷プール
SuigouPool









就労継続支援B型
障害者支援センター未来
平沢事業所

# 夏季旅行は福島県で決まり！！

夏季旅行に向けた利用者さんとの事前説明会では、キャンプ場やスケジュール、昼食のメニューをリストからみんなで楽しく決めました。当日の天気予報はあいにくの雨。出発時の高速道路では激しい雨に見舞われ、雨天コースへの変更も覚悟しましたが、目的地に近づくにつれて奇跡的に雨雲が避けていきました。最初の目的地である　五色沼では、神秘的な沼の色合いに包まれながら素敵な集合写真を撮影。事前説明会でそれぞれが選んだ昼食を口にすると、利用者さんの顔には満面の笑顔が弾けました。

続いて、今回の目玉であるボートでしか行けないキャンプ場へ。ライフジャケットを着用し荷物を載せて出発すると、まるで非日常の世界へ吸い込まれるような感覚に包まれました。現地到着後は、ターザンロープや滑り台での水遊びに大興奮。日頃の畑作業を忘れ、冷たい水に癒やされる最高のひと時となりました。さらにカヌー体験では、慣れないパドル操作に悪戦苦闘しながらも、桧原湖と裏磐梯の雄大な景観に終始圧倒されました。夕食はみんなで協力して作った特製カレーとナン。上品に味わった後は、旅の醍醐味である花火大会です。夜の景色と色鮮やかな光に、一日の疲れも一気に吹き飛びました。

二日目の朝は、静かな湖畔の風景と雲がかかった裏磐梯を眺めながら、自分たちの畑で育てた野菜がたっぷり入った贅沢なミネストローネを堪能。キャンプ場を後にした後は道の駅でお土産選びを楽しみ、予算を気にしながら職員と一緒に選ぶ時間も良い思い出となりました。
旅の締めくくりは入水鍾乳洞。水温10度の澄んだ水に「冷たーい！」と声を上げながら進む洞窟探検は、冒険心をくすぐられる神秘的な体験となりました。

雨の心配を吹き飛ばすほどの笑顔と感動に満ちた、かけがえのない夏季旅行となりました。












入水鏡洞
出入口









# 実りの季節

残暑の厳しいこの時期、平沢事業所では田んぼの稲も色づき始め、畑ではナス、ピーマン、オクラ等の夏野菜の収穫が最盛期を迎えています。収穫した野菜は栄養課さんの方で昼食に使用して頂いたり、職員さんに購入して頂いています。毎日の草刈りや収穫作業を通して土に触れる喜びや作物が育つ楽しさを感じながら活動しています。今後は秋冬野菜の種まきや定植に向けての土作りを行いながら利用者さん、職員共に残暑を乗り越えるべく体調に気を付けながら作業を進めていきたいと思います。



# 恵みを受けて





今年も、畑にはまぶしい夏の日差しが降り注いでいます。外に出るたび手や首には日焼けの跡が残り、その境目を見るたびに「今年もがんばっているな」と少し誇らしい気持ちになります。

土を耕し、石を拾い、畝を作り、伸びた草を取って運ぶ。食べるまでには沢山の手間がありますが、それぞれが自分の得意とする持ち場で黙々と体を動かす風景には、職員のほうが励まされます。その後、収穫したものをその場で味見という名のつまみ食いは、畑ならではのうれしいごほうびです。

初ものを食べると七十五日寿命が延びるという言い伝えを思い出しながら味わう一口は自然と笑顔がこぼれます。これがみんなの元気の源です。作業の合間に日陰でひと休みし、心地よい風を感じる一時も格別です。畑で過ごす時間が元気と季節の喜びを届けてくれます。



**暑い夏を吹き飛ばせ！暑気払い水遊びレク!!**

7月31日に永井事業所にて暑気払いを兼ねて水遊びレクを実施しました。当日は天候にも恵まれ午前中は午後の水遊びで使用する水鉄砲が怪盗ルパンに隠されたという設定で、桜の木の広場を使い宝探しを行いました。上や下に左右をじっくりよーく見ながら探し回り、木の上や草に隠された水鉄砲を無事に見つけ出す事が出来ました。午後はいよいよ皆が待ちに待った作業班対抗の水遊び。2班に分かれ、新聞紙で作ったお互いの的を水で破られないよう守りながらも狙い撃ちし、職員も利用者さんもビショビショになりながらも夏の暑さを忘れて笑顔溢れる時間を過ごすことが出来ました。

1日遊んだ後は職員お手製のイチゴのシロップ・練乳を使ったかき氷をおやつに食べ、夏も暑いだけではなく楽しいこともいっぱいあるよと伝えつつ、まだまだ続く暑い夏をみんなで乗り切るためのエネルギー補給をすることが出来ました。

共同生活援助
ほっとハウス

# みんな大好きお楽しみ外出





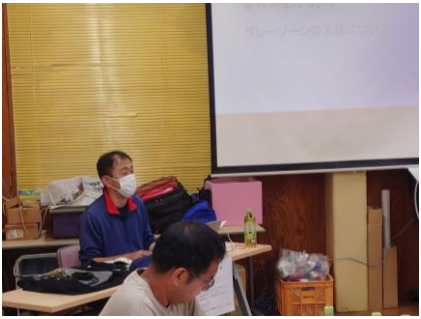




グループホームでは５月から７月にかけてお楽しみ外出を行っています。利用者さんの行きたい場所、やりたい活動、買いたい物を聴き取りながら、それぞれの趣味嗜好を考慮した活動内容で外出をしました。行先としては筑波山、イーアス、植物園、ボーリング、日帰り温泉、イバライド、野球観戦、カラオケ等、県内外の観光資源を活用しながら楽しめる内容となりました。外出を心待ちにしている利用者さんも多いので、これからも可能な限り利用者さんの好みを聞きながら、楽しめるものを企画していければと思っています。



# 法人虐待防止研修





　今年度も昨年度に引き続き、法人全体で虐待防止研修に取り組んでいます。事業所の垣根を越え、さまざまな立場や視点から意見を交わすことで、新たな気づきや学びを深めています。

　グループワークでは、職員が日頃から感じている疑問や課題についても積極的に話題に上がります。一つの意見をきっかけに次々と考えが広がり、「もっと話したい」と感じるほど活発な意見交換が行われています。他の事業所の職員の考えに触れることで、自分自身の見方や支援を振り返るきっかけにもなっています。虐待防止を「知識として学ぶ」だけではなく、日々の支援の中で自分たちに何ができるのかを、一人ひとりが考える時間を大切にしながら、今後も法人全体で取り組みを続けていきます。




# 筑峯学園の相談支援

大変遅くなり、今更感はぬぐえませんが、令和８年度の筑峯学園の相談支援についてお伝えいたします。当法人の相談支援事業は１５年目を迎え、職員体制としては、専従職員２名、兼務職員１名の計３名となり、昨年度までと変更はございません。令和８年度中に研修を受けて、相談支援専門員の資格を取得予定の職員もおりますので、来年度は職員数が増えるかもしれません。

当事業所では、一般相談支援（地域移行・地域定着）、障害福祉サービスを利用される方に対応する計画相談支援（成人と児童があります）、つくば市より委託を受けている委託相談支援、またつくば市基幹相談支援センターの一部業務も委託されておりその相談支援等を実施しております。加えて、つくば市からの委託事業として、障害者虐待防止対策支援事業、障害支援区分認定調査、地域生活支援拠点等整備事業も実施しております。




# 生活リズムを整えましょう

立秋も過ぎ、暦の上では秋ですが、9月はまだまだ残暑厳しい日が続きます。

9月に旬を迎える食材には秋鮭、さんま、きのこ、さつま芋、里芋、梨、ぶどうなどがあります。これらの食材は、DHAやEPAなどの必須脂肪酸を含み血液サラサラにし、脳を活性化させる効果があります。またさつま芋には食物繊維が豊富で、秋の疲れを癒すエネルギー源となります。規則正しい生活リズムを心がけ、食事をしっかり摂って体調を整えましょう。

# 平沢官衙万灯まつり







８月22日（土）、平沢官衙万灯まつりが開催されました。
筑峯学園の入所児童の力作も並びました。
夕方の薄暗くなりそうな時間から子ども達は平沢官衙に行き、かき氷を食べ、太鼓の演奏を聴いてきました。時間の経過とともに変わる空の明るさを感じ、暗くなって園まで歩いて帰る、特別な夜になりました。

**筑波山麓秋祭り2026**が開催されます。10月31日、11月1日、3日、7日、8日に、筑波山麓地域の歴史と文化を感じるイベントが開催されます。詳細はホームページやインスタグラムで「筑波山麓秋祭り2026」と検索してください。

**「平沢官衙遺跡　秋のミニコンサート」**
10月31日（土）13:00～15:30平沢官衙の復元建物をバックに野外コンサート。【雨天翌日延期】（無料）

筑峯学園から皆様へ

# おしらせ

## 01 後援会会員を募集しています

日頃より筑峯学園に温かいお心遣いをいただき、深く感謝申し上げます。
引き続き、皆様のご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。
後援会会員の方には、広報誌を送らせていただきます。

**年会費**

個人会員
一口5,000円より
法人会員
一口10,000円より

## 02 ご寄附について

様々な形でのご寄附を受け付けております。寄附金以外に、学習用品、画材、本、おもちゃ等、利用児・者の為に使わせていただきます。

ご支援をお願い申し上げます。
寄附申し込みフォーム、お電話、メール等で受け付けております。

## 03 インスタグラム発信しています

follow us!

筑峯学園の日々の様子やお知らせを発信しています。

TSUKUHOU_GAKUEN

## 04 ご意見募集中

つくほうだよりに関する皆様のご感想やご意見ご要望をお聞かせください

## 編集後記

長雨が続いた9月は、野菜の高騰が家計にも法人の給食にも大きく影響しています。食材の値上がりに「どうしたものか…」と頭を抱えていますが、職員同士で知恵を出し合いながら前向きに工夫を重ねています。そんな中、「食糧自給率を上げよう！」という話題が持ち上がり、花壇にジャガイモを植えてみてはどうかというユーモアあふれる意見も出ました。畑はあるものの、手入れしやすいのはやはり花壇。もしかすると、春には本当にジャガイモ畑になっているかもしれません。今はサツマイモ畑なので、あまり違いはないのですが、まさしく“花より団子”の発想です。

野菜の高騰はしばらく続きそうですが、こうした前向きな姿勢や柔軟なアイデアが、日々の支えになっていると感じます。困難な時期だからこそ、職員の明るさと工夫を大切にしながら乗り越えていきたいものです。（井上）







# TSUKUHOU PHOTOGRAPH







社会福祉法人 筑峯学園

発行日／令和8年9月
発行所／社会福祉法人筑峯学園
〒300-4213 茨城県つくば市平沢655-4
MAIL sat@tsukuhou.or.jp
WEBSITE http://www.tsukuhou.or.jp